

平成19年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会報告  
平成19年11月29・30日 於大阪府（大阪市）

報告者 深井邦彦

(1) 特別講演 「人生の春夏秋冬と健康づくり」 神戸女子大学 名誉教授 外園一人

(2) 講義 「喫煙・飲酒・薬乱防止教育の充実について」

文科省スポーツ・青少年局学校健康教育課 健康教育企画室健康教育調査官 北垣邦彦

「生きる力」(ライフスキル)・・・知識を行動に結びつける

人の命の大切さ

次の世代につながる教育

セルフエスティームの育成

自らを価値ある存在に

他者(弱者)への健康の理解

メディアリタラシーの育成・活用 自他の健康の管理、健康情報

意識調査の結果

シンナーは小学生に、飲酒は中学生に教育・・・二人に一人は無害と考えている

喫煙は高校生に・・・吸いたい欲求

今後の課題

喫煙・・・(男の40%)大人をロールモデルとする 保護者が止める

薬物・・・使ったり、持ったりすることが悪いことの徹底(薬物の使用に肯定的な女高生 ダイエット)

薬物乱用防止教育の留意点

児童生徒 年齢、興味、ニーズ、地域を踏まえた適切な情報提供

ほとんどの児童生徒が薬物を乱用していない

教材 センセーショナルな表現をすべきではない

入手、使用方法は教えない 社会復帰(芸能人)を扱わない様

指導上の配慮 「知識中心」「おどし型」だけでは逆に危険行動を助長する

ロールプレイング等のトレーニングは有効であるが、それを

使うための「生きる力」が必要

どこにおいても、誰においても 起こりうる深刻な問題

(3) 講義 「児童生徒に対する薬の正しい使い方指導」

兵庫教育大学 理事・副学長 勝野真吾

講義 総合学習、特別活動等の時間に講義する

医薬品について

児童生徒の発達段階を踏まえて指導する

教師と専門家が連携して指導する

